

平成22年 3月31日現在

研究種目：基盤研究 (C)  
 研究期間：2007～2010  
 課題番号：19500541  
 研究課題名 (和文) オリンピック大会開催時のオリンピック平和運動に関する調査研究  
 研究課題名 (英文) Research on the Peace Movement on the occasion of the hosting the Olympic Games  
 研究代表者  
 舛本 直文 (MASUMOTO NAOFUMI)  
 首都大学東京・大学院人間健康科学研究科・教授  
 研究者番号：70145663

研究代表者の専門分野：スポーツ哲学

科研費の分科・細目：健康・スポーツ科学・スポーツ科学

キーワード：オリンピック、平和運動、開催都市、聖火リレー、オリンピズム、オリンピック・ムーブメント、オリンピック教育、採火式

#### 1. 研究計画の概要

本研究の目的は、オリンピックの根本精神であるオリンピズムとそれを実現していくためのオリンピック・ムーブメントの目的として示された「平和な社会の推進」および「平和でよりよい世界の建設」という高邁な目的に対して、最近のオリンピック開催都市および開催予定都市の計画と実際の活動を調査分析し、それらの都市の平和運動の実態を明らかにすることによって、平和運動としてのオリンピック競技大会の目的達成状況を検証することにある。

##### 平成19年度

(1) 文献収集と記録映像資料収集①オリンピック開会式の映像、総集編の映像、オリンピックの平和運動やオリンピック教育の記録等の映像と文献資料の検索と収集。②オリンピック開会式の映像資料、総集編など映像資料の収集・編集・整理。③オリンピック休戦センター (IOTC) で2008年北京大会に向けた平和運動に関する資料の収集・整理。

(2) 研究成果の公表と資料収集方法 ①研究成果の整理と今後の研究方向のフレームについて国際学会で報告。外国のオリンピック研究者と資料収集するネットワーク形成。②IOCオリンピック研究センターで資料収集：オリンピック開会式および「オリンピックの平和運動とその教育」関連資料の収集。

(3) 資料の分析・整理 ①収集資料の検索体制の整備。②アテネとトリノ大会の開会式のテレビ映像資料の収集。③開会式のテレビ映像からオリンピック平和運動とその教育性の分析・整理。

##### 平成20年度

(4) オリンピック開会式のテレビ映像資料および総集編映像の中のオリンピズムやオリンピック平和運動とその教育に関する表現、公式報告書などの収集・整理。

(5) 北京オリンピック大会時の現地調査 ①北京大会の開会式時における「平和運動と教育」について現地調査。②北京大会時の関連学会への参加と報告および研究者ネットワークを利用した資料収集。

(6) 研究成果の中間公表およびオリンピック平和研究資料収集およびまとめと整理：北京大会関連の平和運動を中心に国際学会において研究成果の中間公表。IOCオリンピック研究所における最新の資料収集。

##### 平成21年度

(7) 北京大会開会式の研究成果報告 ①北京オリンピックの開催時における平和運動とその教育に関連した研究成果のまとめと報告。②2010年バンクーバー大会の現地調査に向けた研究打ち合わせ。IOTCと連携した情報収集。

(8) バンクーバー大会開催時の平和運動およびそのオリンピック教育に関する資料整理 ①バンクーバー大会の平和運動について開会式および組織委員会のオリンピック教育に関して資料収集・整理。

(9) バンクーバー大会の現地調査およびテレビ放映資料等の収集 ①バンクーバー大会の現地調査と開会式の平和運動や街中の運動およびオリンピック教育関連の資料収集。②バンクーバー大会のテレビ映像資料の入手と分析・解釈。

## 平成 22 年度

(10) データの最終整理と分析および成果報告・論文発表

## 2. 研究の進捗状況

### 平成 19 年度

(1) オリンピック開会式、平和運動やオリンピック教育の記録映像と文献資料の収集。

(2) 2008年北京大会のオリンピック平和運動に関する資料の収集・整理。

(3) 研究成果を整理し研究フレームについて国際学会にて報告しその有効性と妥当性を問う。オリンピック研究者ネットワークを利用した研究情報の交換。

(4) オリンピック博物館、IOCオリンピック研究センター、IOTCでの資料収集。

(5) 2008年北京大会聖火リレー採火式調査の実施と平和メッセージについての資料収集。

(6) 収集したオリンピック開会式や平和運動とその教育に関する資料の整理。

### 平成 20 年度

(7) オリンピック開会式のテレビ映像資料からオリンピック平和運動とその教育に関する資料、公式報告書などの資料収集整理。

(8) 北京大会の国際聖火リレーおよび開会式の調査、分析・解釈。①国際聖火リレーおよび開会式時における「オリンピック平和運動とその教育」についての現地調査。②北京大会時の関連学会への参加と成果報告および研究者ネットワークを利用した資料収集。

(9) 研究成果の中間公表と平和運動資料の収集と整理。①北京大会の平和運動関連を中心に国際学会での研究成果の中間公表。②オリンピック研究所、IOTCと連携し資料の収集。

研究成果から、オリンピックの理想としての平和運動と現実としての政治的軋轢などの諸問題が浮き彫りにされ、オリンピックの諸問題の改善に向けてオリンピックの平和運動という理想の重要性が再確認された。

### 平成 21 年度

(10) 2010年バンクーバー冬季大会の平和運動に関する資料の収集と整理。

(11) 北京オリンピック大会のオリンピック教育における平和運動関連の再調査、内容分析・解釈。①北京オリンピック大会における「オリンピック平和運動とその教育」について大学院生と現地の再調査。②北京大会時の「オリンピック平和運動とその教育」に関してして研究成果の論文発表。オリンピック研究者ネットワークを利用した資料収集整理。

(12) 北京大会関連の平和運動を中心に学会における研究成果の中間公表。

(13) 2010年バンクーバー冬季大会現地調査。IOTCとも連携したバンクーバー冬季大会の開催時の現地調査と最新の資料収集。

(14) シンガポールユースオリンピック大会関連の資料収集。2010年ユースオリンピック

大会の平和運動関連の資料収集。

資料の整理分析中であるが、中間成果からオリンピックの理想としての平和運動の不十分さと諸問題が浮き彫りにされた。このような諸問題の改善に向けてオリンピック平和運動という理想の重要性が再確認された。

## 3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

(理由)

ほぼ計画した調査と資料収集および成果報告が予定通り進行しているからである。

## 4. 今後の研究の推進方策

北京大会、バンクーバー大会の調査資料の分析整理と国際学会発表。さらに、2010年ユースオリンピックの現地調査と資料収集。成果の最終発表の予定である。

## 5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 6 件)

①Yimin Wang and Naofumi Masumoto, The Heart-to-Heart Partnership Program of the 2008 Beijing Olympic Games. Journal of Olympic History. 有, 2010, in press.

②Yimin Wang and Naofumi Masumoto, Olympic Education at Model Schools for the 2008 Beijing Olympic Games. International Journal of Sport and Health Science. 有, 2009, web 版

③Naofumi Masumoto. The Birth of the Modern 'Olympic Truce': The Chronological Approach. Pathways: Critiques and Discourse in Olympic Research. 9<sup>th</sup> International Symposium for Olympic Research. International Centre for Olympic Studies. 無, 2008, 498-502.

[学会発表] (計 14 件)

①舩本直文, 2008年北京オリンピック大会の平和運動: 国際聖火リレー騒動とオリンピック休戦. 日本体育学会, 2009年8月28日, 広島大学(東広島市)

[図書] (計 10 件)

①Naofumi Masumoto, International Olympic Truce Center. 'What with the Japanese rush for medals': Japan's Olympic Truce Appeal before the Games of the XXVIII Olympiad. in International Olympic Truce Centre (Ed.) Olympic Truce: Sport as a Platform for Peace. 2009, 71-75.

[その他]

<http://www.sci.metro-u.ac.jp/sport/personal/masumoto/masumoto.html>